

令和5年度 技術情報第2号

かんきつ、落葉果樹（かき、なし、キウイフルーツ等）
果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

令和5年9月7日
静岡県病虫害防除所長

県西部地域の予察灯で、果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）が8月中下旬以降、多数誘殺されています。本虫の飛来に注意し、ほ場で発生を確認したら直ちに薬剤防除を行ってください。

1 発生状況

- (1) 県西部地域の予察灯において、8月中下旬以降、果樹カメムシ類の誘殺が急増しており、場所によっては誘殺数が昨年より多かった。チャバネアオカメムシの合計誘殺数は、磐田市富丘で2,006頭（昨年254頭、昨年比7.9倍）と昨年より多く、磐田市敷地及び浜松市浜北区大平における誘殺数は昨年並だったものの誘殺が急増した（図1）。ツヤアオカメムシの合計誘殺数は、磐田市富丘で855頭（昨年69頭、昨年比12.4倍）と昨年より多かった（図2）。クサギカメムシの合計誘殺数は、磐田市富丘で50頭（昨年16頭、昨年比3.2倍）、磐田市敷地で569頭（昨年336頭、昨年比1.7倍）、浜松市浜北区大平で549頭（昨年107頭、昨年比5.2倍）と、いずれも昨年より多かった（図3）。
- (2) 8月におけるフェロモントラップへの誘殺数は昨年より少なかったが、磐田市富丘及び静岡市清水区茂畑では9月第1半旬に誘殺数が増加した（データ省略）。
- (3) 県西部地域の病虫害防除員等から、一部の園地（特に中山間地）で本虫の飛来を確認したとの報告が複数あった。
- (4) 本年は、県全域において本虫の数に対して餌となるヒノキ・スギにおける球果の着果量が少なかった（図4）ことから、今後、県西部地域だけでなく、県東部・中部地域においても本虫が餌を求めて園地へ飛来し、果実を加害する恐れがある（図5）。

2 防除対策

- (1) 本虫の飛来に注意し、ほ場で発生を確認したら直ちに薬剤防除を行う。成虫の移動範囲は広いと、地域での一斉防除が効果的である。ヒノキ・スギ林の隣接地域（特に中山間地）や台風通過後の園地では、急激に発生が増加する可能性があるため注意する。
- (2) 薬剤防除については、病虫害防除所ホームページ（<https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>）に掲載している「病虫害防除基準」（<https://www.s-boujo.jp/>）を参照する。なお、薬剤の選択に際しては収穫前日数に注意する。
- (3) 今後の発生状況については、病虫害防除所ホームページで提供している「害虫誘殺グラフ（果樹カメムシ類）」を参考にしてください。

3 防除上の注意点

不明な点については、病虫害防除所、農林技術研究所果樹研究センター、農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

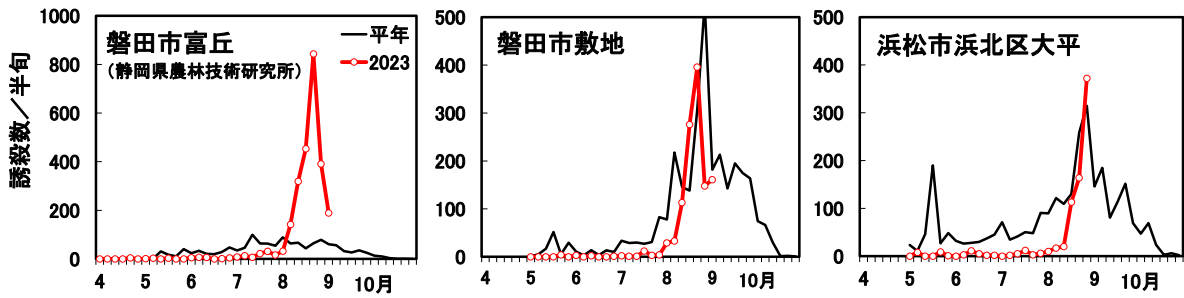


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

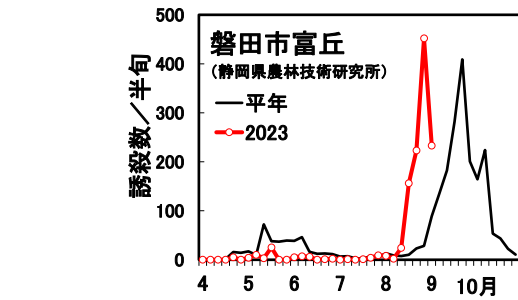


図2 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺状況

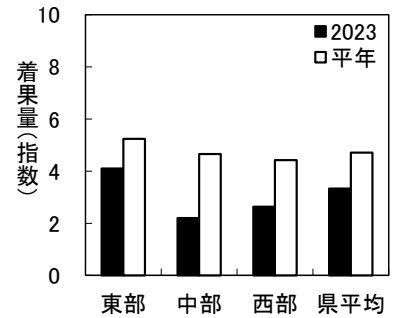


図4 ヒノキ・スギ球果の着果量

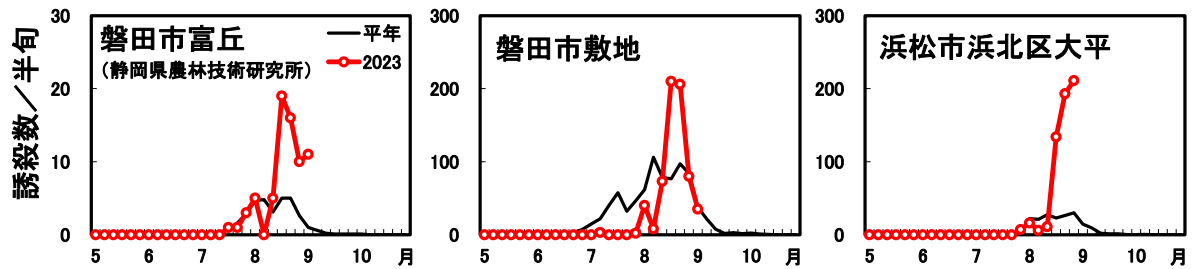


図3 予察灯におけるクサギカメムシの誘殺状況



図5 果樹カメムシ類とその被害果実

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

URL <https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>